

GROW UP!

こひつじレター

目次

- 02：推薦図書紹介
- 03：学びのひろば
- 04：部員紹介
こひつじ紹介

巻頭文

聖霊のお働きに期待して



部長：長澤聖志師

私が遣わされている博多ニューライフ教会では、AG バイブルアカデミー、中央聖書神学校の基礎課程、GU(グローバルユニバーシティの略)などのプログラムを用いさせていただき教会教育に取り組んでいます。様々なプログラムが用意されていることを感謝します。また学びたいと思っている一人ひとりにあわせて市販のテキストや自作のテキストを用いて聖書の学びも行っています。さらに主管者に任じられている春日教会でも AG バイブルアカデミーを用いて礼拝会の後に学びの時もっています。学びたいと思っている人の中には日本語ではなく、英語や他の言語で学ぶ必要があったり、学べる時間も様々であったりします。学びを望む方々がその生活スタイルにあわせて学べるように対応したいと願っていますがそれを願えば願うほど自分の力の足りなさを覚えずにはおれません。

そのような中、改めて思い起こさせられていることは聖霊のお働きに期待して教会教育に取り組むということです。それは、聖霊のバプテスマを受けられた方の証のことばを聞き、彼女の信仰生活にもたらされた大きな変化を目の当たりにしたからです。

信仰歴 50 年を迎えた一人の姉妹が、私たちの教会に集われるようになり、聖霊について聞かれ聖霊

熱心に学び、時には人々の学びを導いてこられた一方で、どこか満たされない思いを抱えておられたそうです。「何か足りない」との思いが彼女の心にあったということです。しかし、聖霊のバプテスマを受けられた後、み言葉の理解と祈りが深められ、主の臨在の中を歩む信仰生活へと導かれたと証ししてくださいました。彼女は今、異言の祈りの恵みの中で主の取り扱いを受けながら信仰生活を送っておられます。

「パウロは内陸の地方を通過してエペソに下り、何人かの弟子たちに出会った。彼らに「信じたとき、聖霊を受けましたか」と尋ねると、彼らは「いいえ、聖霊がおられるのかどうか、聞いたこともありません」と答えた。」(使徒の働き 19：1b-2)

私たちが関わっている方々の中にも「聖霊がおられるのかどうか、聞いたこともありません」と言う方がおられるかもしれません。聖書を読んだことのない人だけでなくイエス様を心に迎えている人の中にも「聖霊について聞いたことはありません」という方もおられるのです。私は聖霊のお働きに期待し、聖霊に導かれ、聖霊のお取り扱いを受けながら私たちの教会の教会教育の働きに取り組みたいと願っています。



推薦図書紹介



部員：細田裕介師

教会の学びなどで用いやすいおすすめ書籍をご紹介します。

『あなたの大切な人におくるバイブルメッセージ』（矢田幹太 著）は、求道者に福音をわかりやすくお伝えし、洗礼へと導くためにとてもわかりやすい本だと思います。

私たちの教会ではこの本を「洗礼準備クラス」のテキストとして使用しています。ただ洗礼の準備ではありますが、まずは「スタートクラス」として呼びかけをし始めています。そして途中から「洗礼準備クラス」へと移行していきます。

学びは礼拝後の15-30分という時間を設定し、3-4ヶ月ほどかけ全体を8回から10回に分けて学んでいます。

本書は「1、創造」「2、罪」「3、救い」「4、新しい出発」という構成になっていて、福音の全体像をととてもわかりやすく提示してくれます。

前半の「1、創造」と「2、罪」はスタートクラスとして扱い、神が人をどのような目的で造られたのか、そして罪がもたらした神との断絶とは何かを丁寧に確認し、参加者と読み進めています。この基礎を共有することで、参加者のみなさんは聖書の語る救いを自分自身の問題として受け止めやすくなるように思います。

続く「3、救い」では、イエス様の十字架と復活による恵みがわかりやすく整理され、単元の終わりには「信仰の告白」として「祈り」が書かれています。そしてこの「祈り」を自分の思いとして祈ることが出来る方々と受洗準備クラスへと進みます。信仰の応答を自然に促す流れが整えられており、性急さも曖昧さもない導きが可能だと思います。

そして「4、新しい出発」では、信じた人は洗礼を受けるようにとすすめるがあります。とにかく一つ一つの単元が短く、そしてわかりやすいのが特徴だと思います。

実際に小学生からご年配の方まで幅広い年代で用いられていますが、どの世代にも理解しやすいシンプルさと、福音の核心を外さない確かさを兼ね備えているように思います。

またすでに信仰を持たれているみなさんにも心から推薦します。ご自身の確認と学びのためにお読み頂ければと思います。

『あなたの大切な人におくるバイブルメッセージ』

著者：矢田幹太
出版社：グローリーブックス
価格：550円



学びのひろば



部員：趙善江師

教会で実際に行われている学びの実例をご紹介します。

私たちの教会では、大宣教命令の後半部分であるマタイ 28:20『また、わたしがあなたがたに命じておいたすべてのことを守るように、彼らを教えなさい。』に応答し、開拓当初より様々なバイブルスタディとセミナーを継続してまいりました。その中から 10-30 代を対象としたものをいくつか紹介させていただきます。

第一に「人生を変えるバイブルスタディ」では、リック・ウォレン著『人生を導く 5 つの目的』(The Purpose Driven Life) を用いて、聖書的な人生の目的を理解していきます。礼拝・交わり・弟子訓練・奉仕・伝道という五つの柱を通して、信仰を生活全体へと統合することを目指しています。この学びは日曜第二礼拝後 15:30-17:00 筆者が導いています。

第二に「未来を拓くバイブルスタディ」では、イ・ヨンフン著『4次元絶対肯定スクール』を用いて、聖書に基づく肯定的信仰と希望の思考を学びます。若い世代が困難の中でも神の視点に立ち、未来を信仰によって切り拓く姿勢を養うことを目標としています。この学びは、金曜祈禱会前の 18:45-19:45 ユースケア担当の信徒リーダーが導いています。



第三に「リーダーを導くバイブルスタディ」では、九場ケンソン正宣著『キリストの弟子として生きる』(原著 Spiritual Discipleship) を用い、弟子とは何かを学び、信徒リーダーの育成を目指しています。

この学びは 30 代既婚男性たちが仕事帰りに集まり、教会スタッフである信徒リーダーが導いています。

また青少年未来セミナー「Christian Vision, Love and Marriage」では、筆者作成のテキスト・ワークシートを用いて聖書的世界観に立った人生設計と結婚観を扱い、神が一人一人に与えられたビジョンやタラントを見出せるよう導きます。中学生以上の青少年が共に学び、将来について真剣に考える時間となっています。このセミナーは、ティーブレイクの分かち合いやワークシートを含め 4,5 時間を要するため、2,3 回に分けるか、休日を利用するなどして年に一度開催しています。



これらの学びはすべて聖霊様の助けと導きを求めて進められ、学びが知的なものに止まらず、参加者全員が必ず祈禱課題を分かち合い、祈りを通して働かれる愛の神を体験し、キリストに似る者として成長することを目指しています。



箴言 22:6
「若者をその行く道にふさわしく教育せよ。そうすれば、年老いても、それから離れない。」

部員紹介

教会教育部の部員を紹介させていただきます。



部長
長澤聖志師



部員
細田裕介師



部員
趙善江師



部員
綾部クリスチーナ
万里子師



部員
川西映子師



部員
神山美由記師

こひつじコンテンツ紹介

「こひつじ」は、教会教育部が提供する、教会の教育ミニストリーを支えるホームページです。教会学校（旧：日曜学校）や信徒教育に役立つ資料を備え、「教案ガイド」「CS 教材」「CS 教師教育」「信徒教育」の四つのコンテンツを掲載しています。

教案ガイドには、カリキュラムごとに教師ノート、メッセージガイド、デボーションノート、ワークブックが用意され、CS 教材の豊富なイラストとともに、教会学校での聖書に基づく一貫性ある学びを支えます。教会での学びに加え、家庭礼拝や個人のデボーションにも活用できます。また、「日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団日曜学校教師」資格取得のための養成講座ビデオも視聴可能です。

※教会学校教師資格（旧：日曜学校教師資格）は、日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団所属教会の教会員に授与されます。希望される方は、所属教会の牧師にご相談ください。

次世代を育てる働きのために、「こひつじ」をぜひご活用いただき、御教会の教育の働きがさらに豊かに用いられますように。



部員：綾部クリスチーナ万里子師



←「こひつじ」ウェブサイト